

令和7年度 道志小中学校

道志中学校公開研究会

令和7年10月17日（金）

14：00～14：50 授業実践 @各教室

15：10～15：50 全体会 @各教室

15：55～16：35 分科会 @各教室

分科会次第

- 1 はじめのことば 司 会
- 2 講師紹介 司 会
- 3 研究協議(30分程度)
 - (1) 授業者より：学習目標達成のための実践について(10分程度)
 - (2) 質疑応答(20分程度)
 - ① 個別最適な学びについて
 - ② 協働的な学びについて
 - ③ WEBQU を活用した安定と活性化
- 4 指導・助言(10分程度)
- 5 お礼のことば 担当職員
- 6 おわりのことば 司 会

◆ 終了後

道志小中学校教職員：校内研 GKP の入力をしてください

参加者の皆さん：本日の公開研究会のアンケートの回答をお願いします

道志小中学校 校内研究

令和7年度 道志小中学校研究主題

『個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する児童生徒を育成する』

～ ICT を活用し、児童生徒が自ら学びを生み出す授業づくり ～

～ 組織で WEBQU 等を活用した安定した学級づくり ～

提案授業の柱

1 個別最適な学びと協働的な学び(手段)によって主体性を高め、めあてを適える

- ◎ B 評価達成に向けて
- ◎ ICT の活用

① 個別最適な学びについて

- ・ 特性・学習進度・学習到達度等を自己調整し、学習内容の確実な定着を図る過程で**どのよう**に**必要に応じた重点的な指導や指導方法等の工夫**をしていたか【指導の個別化】
- ・ 興味関心・キャリア形成の方向性等を、自己調整し学習を深め、広げる過程において、**どのように一人一人に応じた学習活動や学習課題の提供**をしていたか【学習の個性化】
- ・ 児童生徒がどのような**場面**でどのような**目的**で ICT を活用しているか

② 協働的な学びについて

- ・ 一人一人のよい点・可能性を活かしながら、異なる考え方を組み合わせ、よりよい学びを生み出す過程において、**どのように多様な他者と協働**していたか
- ・ 児童生徒がどのような**場面**でどのような**目的**で ICT を活用しているか

2 WEBQU 等を活用した安定と活性化

- ・ 児童生徒がどのような**場面**で**4つの視点を意識した言動**が見られたか
- ・ 教員が授業のどのような場面で**4つの視点**を意識して**指導と評価**をしていたか

4つの視点

① 充実感・満足感

自分と向き合い、挑戦しお互いを高め合うことで、充実感や満足感を得られていたか

② 承認感

意見を否定せず、協力しながら認め合うことで、承認感を得られていたか

③ 嫌なことがない・不安がない

相手を傷つけたり、悲しませたりするような言動はせず、嫌なことや不安のない状態であったか

④ 連帯する・孤立させない

仲間が失敗したときもプラスの発言をし、励まし合うことで、連帯し、孤立させない状態であったか